



〒108-0071

港区白金台
3-7-1
(3443)
5666



<http://shirokanedai-kg.minato-kyo.ed.jp/>



3歳児の保育室で、所持品の始末についてやさしく教える5歳児。



4歳児が3歳児に、歌を歌って折り紙のチューリップをプレゼント。



3学年が生活を共にすることの意義

園長 佐々木 勝世

新年度になって、まもなくひと月が過ぎようとしています。

3歳児は、少しずつ幼稚園に慣れて、先生と一緒に身支度をして、ままごとや粘土、描画など、やりたいことを見つけて遊び出せるようになってきました。

4歳児は、クラス替えが行われ、新しい友達、新しい先生との生活が始まりました。新しい保育室や木製の中型積み木などの新しい遊具との出会いに、ドキドキ、ワクワクしていました。

5歳児は、自分のマークを作ってロッカーに貼ったり、園庭倉庫から遊具を運び出したりして、自分たちが生活する場を自分たちで整えるところから新年度の生活が始まりました。

幼稚園では、それぞれの学年が、発達段階に応じた活動を展開するとともに、異学年が交流する活動も意図的・計画的に設けています。

5歳児が3歳児を園門から保育室まで送り届ける『お迎えタクシー』は、幼稚園の最高学年となったことを自覚する、5歳児の最初の活動です。3歳児にとっても、5歳児との触れ合いは、保護者と離れることへの不安を和らげてくれる大切な時間です。

5歳児が自分たちで企画した『なかよしタイム』では、4歳児や3歳児に喜んでもらえることを考え、実行しました。その後、5歳児にやさしくしてもらった4歳児が、今度は自分たちが3歳児に『なかよしタイム』をしたいと考え、歌を歌ったりプレゼントを渡したりする姿が見られました。

本園では、このように3学年が共に過ごし、関わり合うことで生まれる経験や成長の機会を大切にしたいと考えています。

<5月の指導のねらい>

3歳児

- 好きな遊具や安心できる場を見つけて遊ぶ。
- 学級のみみんなで手遊びをしたり、紙芝居を見たりすることを楽しむ。
- 幼稚園での生活の仕方を知り、先生と一緒に身の回りのことをやってみようとする。

4歳児

- 自分の思いやイメージを言葉や動きで表しながら、友達と遊ぶことを楽しむ。
- 友達や先生と触れ合いながら、戸外で過ごす心地よさや、体を動かして遊ぶ楽しさを感じる。
- 身支度や片付けなど、生活に必要なことが分かり、自分から取り組もうとする。

5歳児

- 自分なりの目的をもち、新しい遊具を取り入れたり、一緒に遊ぶ友達と思いや考えを出し合ったりしながら遊ぶことを楽しむ。
- 心地よい気候の中で、思い切り体を動かして遊んだり、身近な自然に関心をもち、気付いたことを知らせ合ったりする。
- 生活に必要なことや自分たちでできることを考え、友達と一緒に取り組む。